



特集
知事と語ろう
市町村ミーティング in 大江町

みんなで楽しくトッピング

ドキドキ自然体験塾のピザ焼き体験が5月19日、大山自然公園で開催されました。当日はピザだけでなく、焼き上げるオープンまで全て手作りでおこなわれ、子どもたちは力いっぱい練り上げた生地に、自由な発想でトッピングを楽しんでいました。

平成25年

6

No.628

特集

知事と語ろう 市町村ミーティング in 大江町



吉村美栄子山形県知事が県内各市町村を直接訪問し、地域の抱える課題や県政全般について地元の方々との意見交換する「知事と語ろう市町村ミーティング」が5月16日、町民ふれあい会館を会場に開催されました。

これは県民の声を活かした県政を推進するため、県と市町村が共催して実施しており、知事が県内全ての市町村を訪問するものです。吉村知事就任2期目の最初の開催となった今回のミーティングには、知事の話や聞こうと約280人の町民の方が参加しました。ミーティングでは、大江町にある歴史や文化・人材など地域の資源を活用して、他の地域や分野・産業などとの交流を一層推進していこうと「地域資源を活用した交流の推進」をテーマに設定し、農業の後継者育成や婚活支援、地域産業の活性化など各分野の意見や要望が出されました。今月は市町村ミーティングの様子をテーマに沿った意見を中心に伝えします。

地元産業の活性化

鈴木恵理子（農業委員）

私は農業を営んでおり、生産している大豆を地元の方からも食べてほしいと思いい、町内の豆腐屋、麴屋から豆腐と味噌を作ってもらっています。いつまで続けてもらえるか不安です。

大きな会社を誘致するのもいいと思いますが、町の文化を守っていくためにも地元の小さな加工業者を守り育てていく必要があると思います。県としてどのような施策があるかお伺いします。

知事

本県の企業の99%が中小企業で、県産業振興にはこれらの企業をいかにサポートしていくことが重要だと考

えています。県では今年の3月に「山形県中小・小規模企業支援戦略」を策定し、商工会や県企業振興公社に経営指導、創業支援などの相談に応じるアドバイザーを配置して中小企業の実情に応じたきめ細やかな支援をおこなっています。

村山総合支庁では、ものづくり企業の製品開発や成長分野への参入を支援する「産学連携コーディネーター」や地域の生産者と食品メーカー、小売店などのマッチングを支援する「食農連携推進員」を配置して地域に根差す産業振興に力を入れています。

さらに商工業振興資金として4年間で3000億円（今年800億円）の融資枠を設けていますのでご利用いただければと思います。



山形県知事 吉村 美栄子

あいさつ・県政運営について

- ◎県の将来ビジョンを“自然と文明が調和した理想郷山形”とし、子育て支援、安全・安心な社会の構築、産業振興、雇用創出など6つアクションプランを実施していきます。
- ◎大江町の楯山公園、旧最上橋など最上川流域の歴史・文化的な資源を山形の宝として知る、守る、活かす取り組みを進め未来を築く人材を育成していきます。
- ◎来年は全国に山形の観光を宣伝する山形ディステーションキャンペーンを予定しています。大江町は重要文化的景観、温泉など可能性がたくさんあるので、町の観光振興にも弾みが出ると考えています。
- ◎豊かな自然の中、安定した生活基盤のもと県民の皆様一人一人が生きがいを持って、多様な力が発揮できる県づくりを進めることが知事の責務だと考えています。

プロフィール

- 1951年 山形県西村山郡大江町沢口に生まれる
- 1970年 県立山形西高等学校卒業
- 1974年 お茶の水女子大学卒業
- 1974年 リクルート勤務(昭和52年まで)
- 1981年 子育てしながら行政書士の資格を取得
- 1998年 山形市総合学習センター勤務
- 2000年 自宅にて行政書士開業
この間、県教育委員会委員、県総合政策審議会委員、県農業農村振興懇話会委員、県入札監視委員会委員などを歴任
- 2009年 第50代山形県知事に就任

空き店舗の再利用

伊藤篤市(商工会)

重要な文化的景観の選定を受け、今後町外からの観光客が増えることが予想されます。しかし、おもてなしの重要な役割を果たす各商店街には、来訪者が休息や談笑、食事をする場所が無い状況です。現在商工会では空き店舗を利用して、場所の提供や地元特産品の販売を検討しているところです。空き店舗を利用した場合、賃借料など県から補助は受けられないものでしょうか。

知事

空き店舗をもてなしの場として活用していくことは商店街活性化のためにも大切な取り組みだと考えています。県では、新たに商店街の空き店舗を利用して創業する場合に、家賃などの3分の2を最長6か月間助成する事業を実施する予定です。ただし、前提として中心市街地活性化法に定められた基本計画を策定する必要がありますので、県商工労働観光部や村山総合支庁に相談していただければと思います。

県では観光誘客4500万人という大きな目標を掲げています。また、来年は山形ディステーション

キャンペーンがあり、多くの観光客が県内各地を訪れることが予想されます。受入体制は地元の企業にも協力をお願いしながら進めていきたいと考えています。

農業の後継者の育成

橋本光弘(伏熊区)

農業者の高齢化が進む中、地元の子どもたちにもっと農業の魅力を感じてもらふ必要があると考えています。例えば福島県喜多方市のような「小学校に農業科を設ける」といった考えはありますか。

知事

福島県喜多方市では、小学校の総合の学習を農業科と位置づけて実施しているようです。県でも総合的な学習の時間を中心にしながら、昨年度県内全ての小中学校で農業体験を実施しています。大江町でもこの春閉校となった本郷西小学校で青芋の取り組みを、本郷東小学校ではリンゴと米の栽培体験をおこなっており、生徒たちは体験を通して農家の皆さんの思いに触れ、また農業にそこがれを持つ子もいると聞いています。今後とも総合の学習で農業体験を続けていきたいと考えています。

婚活への支援事業

前田なぎさ（婚活チューター）

子どもの数が少なくなっています。背景には結婚願望があってもなかなか出会うチャンスが無い事が理由の一つだと思えますが、県ではどのような事業に取り組んでいますか。

知事

人口減少は地域全体の活力、労働力の減少、経済成長の低下など社会経済に深刻な影響をおよぼすため、県では4年前から結婚支援の充実に取り組んでいます。

今年度はやまがたハッピーライフプロジェクトとして新たに次の3つの事業を実施しています。

- ①乳幼児や児童生徒とのふれあいをとおして若者から結婚を前向きにとらえてもらうための、結婚ポジティブキャンペーンの展開
- ②成婚数の増加につなげるため、やまがた結婚サポートセンターに希望相手を直接検索できるシステムの導入
- ③「やまがた婚活応援団プラス」による出会い・結婚を望む方や家族への婚活応援運動の推進

この問題は日本全国の喫緊の課題であり、国にも積極的に取り組んでもらえるように要望しています。一

人一人の幸せのためにもできる限りの支援をしてきたいと思っています。



JR左沢線の利用促進

伊藤圭一（小中高PTA連絡協議会）

JR左沢線は大江町と山形市周辺を行き来する通勤、通学者にとって大事な交通機関ですが、人口減少に伴って利用者数の減少が予想されます。左沢線存続のために県ではどのような取り組みを予定しているかお伺いします。

知事

左沢線は西村山地域と山形市を結ぶ重要な公共交通機関だと認識しています。県では、山形県鉄道利用整備強化促進期成同盟会を中心に、左沢線を含めた県内各路線の接続ダイヤの改善など、利便性の向上や輸送力の強化についてJR東日本に要望活動をおこなっています。またJR東日本と連携しトロッコ列車「さくらんぼ風つこ号」を運行するなど観光面での取り組みも予定しています。今年、国から選定された大江町の重要な文化的景観など新しい観光資源を活用しながら、今後沿線市町や関係機関と一体となって観光誘客を促進し左沢線の利用拡大に結び付けたいと考えています。

県としてはさまざまな事業を展開していきませんが、沿線地域の皆さんの利用がなによりも必要です。一人一人が「左沢線は自分たちの鉄道だ」という意識を持ち利用することが大事だと思っています。

主要道大江西川線の整備促進

松田正志（道路整備促進協議会）

主要地方道大江西川線は町にとつて、産業や観光、町民の生活を支える



重要な道路です。平成23年の沢口柳川間の開通に続き、貫見沢口間も準備を進めていただいていると聞いています。今後も貫見沢口間の整備や、田の沢大井沢トンネル間についても進めていただき、一日も早く全線開通できるようにお願いします。見通しなどがあればお聞かせください。

知事

大江西川線は町民の安全安心のために、また柳川温泉、神通峡など観光資源などにとつても重要な道路と考えております。貫見沢口間は道幅が狭くカーブも急なため、これらを改善すべく現在道路工事を計画しています。ただし、整備する場所は月布川が蛇行しているため、いくつも橋をかける非常に大規模な事業になります。このため1箇所からではなく、複数箇所からの同時着工など工



ミーティングの前におこなわれた視察の様子

- ①地元の木材を使用した大江町型住宅を視察されました
- ②楯山公園で重要文化的景観の説明を受けられました
- ③昼食は大江町産やまがた地鶏を使用した親子丼と最上川の鮎。おいしそうに召し上がりました

事の進め方を工夫して工期の短縮に努めたいと思っています。

新規就農者の受入れ

渡辺誠一（新規就農者受入協議会）

町内では農家の高齢化が進み畑を維持できなくなりつつあり、生産者をいかに確保するかが重要だと感じています。大江町では旧寄宿舎を研修所にして、新規就農者の受け入れを積極的に進めています。県では新規就農者を支援するためどのような事業をおこなっていますか。

知事

現在、県では農林水産業の産出額3000億円を目標に年間200人の新規就農者を年間300人に増やす取り組みを予定しています。具体的には新規就農の動機付け・準備・初期段階の3段階にあわせた支援をおこなっていく予定です。

①動機付けでは、山形の農業へ理解を深めてもらうため、就農相談会や短期農業体験などをおこないます。②就農準備段階では、県立農業大学校と農業支援センターにおいて独立就農を目指す方を対象に、最長2年間の実践的な研修を実施し、また研修を支援するため1年間150万円、

最長2年の青年就農給付金などの助成をおこなう予定です。

③就農初期段階では、経営が不安定な就農直後を支援するため年間150万円を最長5年間支援しつつ、栽培や自立について相談できる定着アドバイザーなども配置していきます。②と③を合わせると最長7年間所得補償をすることになり、これは世界でも例を見ない支援制度だと思っています。これらの支援事業をさらに周知し、新規就農者の増加につなげていきたいと思っています。

また新規就農者の数を増やすには、市町村、JAなど地域の担当機関と連携して、新規就農者確保に向けた独自の取り組みをおこない、それに県が協力していく体制が大事だと考えています。





平成24年度下半期 財政状況

町では、みなさんに町の財政がどのように運営されているかを知っていただくため、年2回（上半期、下半期）定期的に財政状況をお知らせしています。今回は、平成25年3月末現在の予算執行状況と町債（借入金）残高の状況をお知らせします。

※決算確定額ではありません。

◆一般会計の予算額

（単位：千円）

| 当初予算額 | 補正予算額 | 前年度繰越額 | 予算現額 |
|-----------|---------|---------|-----------|
| 4,642,000 | 540,100 | 126,767 | 5,308,867 |

※補正予算の主なものは、道路災害復旧事業や町道新設改良事業などです。

※前年度繰越額の主なものは、大江町型住宅建設事業や町道新設改良事業などです。

◆歳入内訳

（単位：千円、％）

| 区 分 | 予算現額 | 収入済額 | 割合 |
|----------------------|-----------|-----------|-------|
| 町 税 | 778,838 | 782,066 | 100.4 |
| 町 民 税 | 337,595 | 341,184 | 101.1 |
| 固定資産税 | 355,671 | 357,685 | 100.6 |
| 軽自動車税 | 22,311 | 22,536 | 101.0 |
| たばこ税 | 44,600 | 41,743 | 93.6 |
| 入 湯 税 | 470 | 613 | 130.4 |
| 都市計画税 | 18,191 | 18,305 | 100.6 |
| 使用料及び手数料 | 75,902 | 74,432 | 98.1 |
| 繰入金、繰越金、 諸収入ほか | 602,987 | 599,451 | 99.4 |
| 地方譲与税 | 61,300 | 62,924 | 102.6 |
| 地方消費税交 付 金 | 71,700 | 71,432 | 99.6 |
| 自動車取得税交付金 ほか各種交付金 | 20,102 | 27,424 | 136.4 |
| 地方交付税 | 2,255,975 | 2,370,576 | 105.1 |
| 国・県支出金 | 847,963 | 611,504 | 72.1 |
| 町債（借入金） | 594,100 | 51,600 | 8.7 |
| 合 計 | 5,308,867 | 4,651,409 | 87.6 |

◆歳出内訳

（単位：千円、％）

| 区 分 | 予算現額 | 支出済額 | 割合 |
|-------------------|-----------|-----------|------|
| 議 会 費 | 98,454 | 97,723 | 99.3 |
| 総 務 費 | 887,398 | 811,605 | 91.5 |
| 民 生 費 | 1,089,759 | 1,044,664 | 95.9 |
| 衛 生 費 | 228,989 | 217,105 | 94.8 |
| 農林水産業費 | 330,450 | 256,036 | 77.5 |
| 商 工 費 | 91,925 | 76,287 | 83.0 |
| 土 木 費 | 1,092,702 | 796,194 | 72.9 |
| 消 防 費 | 201,707 | 188,765 | 93.6 |
| 教 育 費 | 454,141 | 419,203 | 92.3 |
| 公 債 費 (借入金の返済) | 675,789 | 595,250 | 88.1 |
| そ の 他 | 157,553 | 148,769 | 94.4 |
| 合 計 | 5,308,867 | 4,651,601 | 87.6 |

※町道改良事業（藤田堂屋敷線）や町営西原住宅建設事業などを翌年度（平成25年度）へ繰り越しています。

※4月～5月の出納整理期間に執行される科目があるため、歳入・歳出ともに予算現額に対して低い割合となっています。

※歳入内訳の中で、町税の調定額（納めていただくべき額）に対する収入済割合は93.3%です。

◆特別会計

(単位：千円、%)

| 会計名 | 予算現額 | 収入済額 | 割合 | 支出済額 | 割合 |
|--------------|-----------|-----------|-------|---------|------|
| 国民健康保険特別会計 | 1,093,709 | 1,018,310 | 93.1 | 981,291 | 89.7 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 102,129 | 103,366 | 101.2 | 100,802 | 98.7 |
| 介護保険特別会計 | 959,821 | 907,155 | 94.5 | 878,463 | 91.5 |
| 宅地造成事業特別会計 | 21,622 | 21,621 | 100.0 | 20,474 | 94.7 |
| 簡易水道事業特別会計 | 7,068 | 7,343 | 103.9 | 4,478 | 63.4 |
| 公共下水道事業特別会計 | 322,923 | 287,511 | 89.0 | 256,193 | 79.3 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 42,940 | 43,200 | 100.6 | 41,649 | 97.0 |

◆水道事業会計

(単位：千円、%)

| 区分 | 予算現額 | 収入(支出)済額 | 割合 |
|-------|---------|----------|-------|
| 収益的収入 | 241,492 | 246,714 | 102.2 |
| 資本的収入 | 49,162 | 35,063 | 71.3 |
| 収益的支出 | 241,492 | 240,330 | 99.5 |
| 資本的支出 | 166,003 | 96,794 | 58.3 |



◆町債（借入金）の状況

(単位：千円)

| 会計名 | 平成23年度末残高 | 平成24年度借入額(見込) | 平成24年度元金返済額(見込) | 平成24年度末残高(見込) |
|--------------|-----------|---------------|-----------------|---------------|
| 一般会計 | 4,853,565 | 549,800 | 611,352 | 4,792,013 |
| 簡易水道事業特別会計 | 2,548 | 0 | 295 | 2,253 |
| 公共下水道事業特別会計 | 2,381,595 | 53,700 | 123,639 | 2,311,656 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 335,228 | 0 | 20,677 | 314,551 |
| 水道事業会計 | 700,636 | 20,700 | 46,233 | 675,103 |
| 合計 | 8,273,572 | 624,200 | 802,196 | 8,095,576 |

※平成24年度の借入額、元金返済額、年度末残高は決算見込額としています。

※平成25年3月末現在の一時借入金は6億円です。(4月4日に返済を完了しています。)

レンタサイクル「黄^きらら」をご利用ください

JR左沢駅前に無料で利用できるレンタサイクル（愛称「黄^きらら」）が10台設置されました。

これは電車やバスを利用した方が、周辺の観光スポットを気軽に訪れてもらえるよう設置しており、自転車は以前駅前に放置されていたものをリサイクルして使用しています。交流ステーションで受付をすればどなたでも利用できます。

駅周辺には最上川や原町、中央通りなど重要文化的景観に選定された観光スポットが多くあります。この機会に景観をめぐるサイクリングなどいかがでしょうか。

※お問い合わせは、大江町交流ステーション ☎ (62)5501まで



■ 若者の視点を生かし活動～大江町地域おこし協力隊～

大江町地域おこし協力隊の委嘱状交付式が5月7日、役場でおこなわれ、神奈川県出身の石坂康平さんが着任しました。

地域おこし協力隊は、都会で暮らす若者が地元の住民として生活し、地域活動への参加や協力を通して、地域の活性化をめざすもので、町では今年度から初めておこなわれる取り組みです。

石坂さんは、昨年1年間、緑のふるさと協力隊として荻野・堂屋敷で農作業や地域活動に参加してきました。今年からは、柳川平を活動拠点として、七軒地域の行事への参加や旧七軒西小学校を舞台にさまざまな活動をおこなう予定です。交付式では「町内のボランティア団体と協力して、旧校舎を利用した交流サロンができないか検討中です。去年は教えていただくことの方が多かったですが、今度は自分から地元の方々へ働きかけたいですね」と今後の活動に対する意気込みを語ってくれました。



▲ 齊加義三氏
 ▼ 3月から飼育されている改良型やまがた地鶏

■ 新たな品種を導入、加工品化も検討～大江町やまがた地鶏振興会総会～

地鶏の生産や販売を推進する、大江町やまがた地鶏振興会総会が5月8日、柳川温泉でおこなわれました。

振興会では昨年度、合計400羽のヒナの飼育や食肉の販売、山形市内焼き肉店でのメニュー化をおこないました。また3月からは、従来のやまがた地鶏より飼育日数が少なく、肉付きがよく育つ改良型やまがた地鶏の飼育を開始しています。今年度は、さらなる生産量の拡大を目指していくとともに、大江のうまいもの市で地鶏フェアの開催や加工品化をすすめていく予定です。

当日はこのほか、天童市の食肉加工会社齊加商店の齊加義三氏の講演会がおこなわれ、齊加氏は「地鶏からは、モモ、手羽、ハツなどさまざまな部位が採れますが、それぞれ用途が異なるので均一に消費しにくいことがあります。加工品化はその問題を解決する有効な手段です。加工する上で一番大切なことは、加工品をどのように食べてもらうか、ターゲットを絞ることですね」と加工品化のメリットと製品化する上でのポイントを話されました。

■ 魅力的な景観を巡る～舟唄の里案内人と左沢まち歩き～

舟運で栄えた左沢の街並み、中世に山城があった楯山などで構成する「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」が県内で初めて国の重要文化的景観に選定されたことを受け、より多くの方に景観を知ってもらおうと、町民を対象としたまち歩き研修会が5月17日に開催されました。

研修には町民、観光ボランティアガイドの会、テレビ局など17名が参加。左沢駅を出発し、最上川河畔や茂吉歌碑、原町通りなどをめぐる約3kmのコースを歩きました。

参加者は「重要文化的景観に選定されたので改めて町のことを知ろうと思い参加しました。毎日見ている景色が文化的に価値があることを知り、近所を見る目が変わりましたね」と景観の魅力を発見していました。



■ 青苧の焼畑活動～青苧復活夢見隊～

江戸時代に大江町の特産品だった青苧を栽培している、青苧復活夢見隊が5月19日、橋上区の青苧畑で今年初めての活動となる焼畑活動をおこないました。

青苧は地上部の茎や葉がなくなっても地下の根から1年間に何度も生えてくる特徴があります。焼畑は芽の大きさを均一にさせられるほか、灰が肥料になる効果があります。作業には夢見隊のほか、東北芸術工科大学の学生など約20名が参加。はじめに畑に生えていた青苧の芽を摘み取り、その後畑全体に藁を敷き火を放ちました。

青苧は7月には2mを超える大きさまで成長し、その時一旦刈り取って茎から繊維を取り出す予定です。また夢見隊では、秋に2回目の刈り取りをおこない、その時採れた青苧を使い和紙作りなども検討しているとのこと。



当日摘み取った青苧の若芽は真麻うどんや青苧御膳に使用されます▶



■ 自然の中で楽しく活動～緑の少年団結団式～

野山を舞台としたフィールドワークやネイチャーゲームなどを通し、自然に関するさまざまな知識を養う、緑の少年団の結団式が5月25日、大山自然公園でおこなわれました。

結団式では、なめこの植菌体験も実施し、子どもたちは楽しそうにドリルで穴を空け、ほだ木になめこの種駒を打ち込みました。今回植菌したなめこは、後日みんなで収穫し、お汁にして味わう予定です。

今年の緑の少年団は、フィールドワークのほか大江町型住宅の見学会や他の少年団との交流会、間伐材を使用した木工クラフトなどを予定しています。新たに団長に就任した左沢小学校6年生の佐竹宥馬くんは「これまで2年間緑の少年団活動に参加してきました。その経験を活かし、団員みんなで楽しく活動していきたいです」とこれからの活動を楽しみにしていました。

▲協力してなめこの種駒を打ち込みました
◀今年1年間の活動で使用する名札の作成



■ 自慢のスイーツが勢ぞろい～大江のうまいもの市～

町内商店自慢の逸品が集まる大江のうまいもの市が6月2日、左沢駅前広場で開催されました。

今年度1回目となる今回は、ごほうびスイーツフェアとして、各菓子店自慢の逸品が登場。うまいもの市限定商品の販売や大江町と交流のある宮城県亘理町で採れたいちごを使用したショートケーキの振る舞いなどがおこなわれました。

会場ではこのほか、左沢せんべい10枚をどれだけ早く食べられるかを競う“あなたが日本一ゲーム”や左沢4区の「菖蒲たたき」の披露など、さまざまなイベントがおこなわれ、訪れた方は楽しい時間を過ごしていました。

次回7月7日のうまいもの市では、地元料理飲食店組合が町産やまがた地鶏を使用した逸品などを提供する、地鶏フェアを開催する予定です。

左沢4区の“菖蒲たたき”が披露されました(写真右)▶
宮城県亘理町のいちごを使用したショートケーキの振る舞い(写真左)▶



4/29 地元を受け継がれる伝統の舞を披露

～榎山田植踊り～

妙法院（榎山区）で4月29日、榎山田植通り保存会による田植踊りが披露されました。

榎山田植踊りは、その年の豊作や子孫繁栄を祈る踊りとして、江戸時代寛永の頃から同地区に伝わるとされています。舞台では、隆盛の意味をもつとされる富士山と竜の模様が描かれた陣羽織姿の踊り手と、早乙女役（田植えをする女性）に扮した男性が、正月から始まり一年間の生活を表現した7つの踊りを披露しました。

踊りには保存会の役員のほか地元の小中学生も参加。早乙女役を演じた鈴木皓樹さんは「早乙女役は、持ち物にあわせて何種類も踊りがあるので覚えるのに苦労しました。先輩方は自然に体が動くぐらい踊り込んでいるので、ぼくらももっと練習を積み先輩方のように踊りたい」と話してくれました。



5/15 走って！跳んで！記録に挑戦

～小学校陸上競技大会～

晴天の中、第51回大江町小学校陸上競技大会が5月15日に左沢小学校グラウンドでおこなわれ、町内各小学校の5・6年生150人が参加しました。

大会では、100m走や70mハードル、走り幅跳びやリレーなどの7種目がおこなわれ、児童たちは力の限り記録に挑戦しました。

＜競技結果＞各種目優勝者のみ

★1000メートル走

- ・6年男子／公平 直希（左 沢） 3分41秒1
- ・5年男子／鎌上 誠也（左 沢） 3分50秒1

★800メートル走

- ・6年女子／鈴木 亜未（左 沢） 3分6秒7
- ・5年女子／菊地 優晴（本郷東） 3分0秒6

★ソフトボール投げ

- ・6年男子／阿部悠太郎（左 沢） 42m58
- ・6年女子／坂口 礼（左 沢） 30m73
- ・5年男子／庄司 楓基（左 沢） 43m94
- ・5年女子／小野 舞夢（本郷東） 29m2

★400メートルリレー

- ・男子／左沢6年1組 1分4秒17
- ・女子／左沢6年1組 1分5秒32

★100メートル走

- ・6年男子／阿部悠太郎（左 沢） 15秒6
- ・6年女子／岡田 悠（左 沢） 14秒7
- ・5年男子／鎌上 誠也（左 沢） 15秒3
- ・5年女子／柏倉 玉苗（本郷東） 16秒7
- 横山 心那（本郷東） 16秒7

★70メートルハードル

- ・6年男子／高橋 快斗（本郷東） 13秒3
- ・6年女子／岡田 悠（左 沢） 13秒1
- ・5年男子／鎌上 誠也（左 沢） 12秒6
- ・5年女子／高橋 夢叶（左 沢） 14秒2

★走り幅跳び

- ・6年男子／高橋 太陽（左沢） 3m81
- ・6年女子／岡田 悠（左沢） 3m71
- ・5年男子／大井 奏潤（左沢） 3m49
- ・5年女子／川越 妃夏（左沢） 3m19





5/10~11 闘魂注入！バスケット

～第10回大江闘魂カップ～

中学校バスケットボールのレベルの向上と各チームの親睦を図る、第10回「大江」闘魂カップが5月10日・11日の2日間、町体育センターほか3会場でおこなわれました。

今回の大会には大江中学校をはじめとする県内の中学校ほか、秋田・岩手・宮城・福島・新潟など周辺各県から男女各16チームが参加。各チームとも普段対戦できない相手に全力でぶつかり合い、お互いのレベルアップを目指しました。

◀宮内中学校（南陽市）と対戦する大江中学校

5/26 晴天のもと元気にプレイ！

～第35回町民ソフトボール大会～

五月晴れの清々しい天気の中、第35回大江町民ソフトボール大会が5月26日、総合体育施設と左沢高校グラウンドを会場に開催されました。今年は、町内の各地区から30チーム450人が参加し、4ブロックのトーナメント制で熱戦を繰り広げました。

大会がすすむにつれて白熱したゲームが増え、家族などの声援を受け、選手たちは気迫のこもった真剣な表情でボールを追いかけていました。

◀ブロック優勝▶

Aブロック／七軒西 Cブロック／小漆川
Bブロック／12区 Dブロック／9区A



6/2 魅力あふれる手作り作品

～第8回あじさい手作り工芸まつり～

個人や趣味のサークルが作成した工芸作品が集まる、第8回あじさい手づくり工芸まつりが6月2日、町民ふれあい会館で開催されました。

会場では、陶芸やパッチワーク、つる細工などの作品が展示、販売されたほか、実際に工芸を体験できるコーナーも設けられ多くの方でにぎわいました。

会場を訪れた方は「プロ顔負けの作品がたくさん出店されるので毎年来ています」「見るだけでなく、体験や購入できるのがうれしい」など魅力あふれる作品を前に満足そうでした。

- ①自慢の作品が勢ぞろいした陶芸ブース
- ②かわいらしいグッズが並ぶ手芸ブース
- ③色彩魚拓ブースではさくらんぼと葉を描く体験がおこなわれ、多くの子どもたちが挑戦しました

◆わだいの交差点に掲載できなかった情報の一部は、町ホームページの「フォトおおえ」に写真を掲載していますのでご覧ください

町長 コラム Column

パンとバター、別々に食べるのが正しいか、パンにバターをのせて食べるのが良いのか、「西洋文化」は難しい。サンドイッチにいたっては、パンの味なのか、卵なのか、レタスカまったく分からなくなってしまう。人々は、「組み合わせに新しい生き方を探しつつきてきたのかも知れないが、何と何を組み合わせるか、楽しいことではあるが難しいことでもある。

ドクターヘリを初めて見た。中央公民館の駐車場に降り、実にてきばきと救急車とタッグを組んで、患者さんを助けている様子が遠いところからもよく分かった。救急車で処置を済ませ、ヘリコプターの中に移って間もなく4枚の羽が勢い良く回りだした。ヘルメットを頭にかぶった1人が操縦席、もう1人はヘリコプターの周りを点検している。二人は片手の親指を上げた。点検を終えたヘルメットさんは、周囲にいた方々に5、6回、頭を下げたあと、機体に乗れ込んだ。エンジンがうなり、雨の水たまりがよじれるように吹っ飛んで、ヘリは空に浮いた。

空に浮き、縦・横・斜め自由自在のヘリコプターとお医者さん、ありがたいたと思う。お医者さんとヘリコプターの救急救命の「組み合わせ」のすごさに感動した。1つ、1人では、大きな力にはなれない、和をもって尊しと…。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.02

光明院は原町通り沿いで通りの西側に位置する寺院で、通りから西に延びる参道の最奥部に大師堂が配置されています。その歴史は古く、寛文8年（1668年）に羽黒山別当僧天宥和尚の命により建立され、当時敷地内には伝教大師（最澄）を祀った大師堂と共に、僧が日常生活をおこなう僧坊も建てられたとされています。

木造平屋の大師堂は、ほぼ正方形の平面で、底の出が長い宝形屋根（4枚の屋根がすべて三角形）が特徴です。また軒裏の木部、梁の彫刻などに伝統的な意匠が施されており、いにしへの信仰の痕跡が見られる遺構です。

駅前道路が整備されると大師堂の背後が見やすくなり、駅前から望める四角錐の稜線は一つのランドマークにもなっています。入口の梁にはユニークな彫刻が施されている▶



光明院



簡易マップ

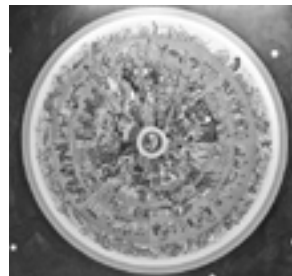


ALT通信 マットの おおえ生活 No.29

Today I want to talk about culture. Since moving to Japan, I've been asked many times to describe "American" culture, but I think it is very difficult to describe something so complex. Unlike other countries, The U.S.A. doesn't have a single culture. Because it is comprised of many foreign immigrants, there are many different cultures that coexist. This means that my family's traditions, ceremonies, and beliefs might be completely different from our next door neighbor's. In America we have a saying, "Common sense is not very common." I think this saying is a reflection of the diversity of American culture. It means what might seem obvious to me, won't necessarily be obvious to everyone.

今日は文化について話そうと思います。来日してから、何度もアメリカ文化を説明してほしいと頼まれましたが、今でもあまり上手に説明できません。というのも、他の国と違ってアメリカは、多くの移民から成り立っている国ですから、一つの文化というより様々な文化が同時に生きているからです。つまり、私の家族の習慣や祭式などが、隣人の事情と同じとは限らないということです。アメリカでは、この状態を表す「Common sense is not very common.」ということわざがあります。これは、アメリカ文化の多様性を反映していると思います。その意味は、自分にとって「当たり前」と思うことが誰に対しても「当たり前」とは限らないということです。

★このコーナーでは、小見在住のALT（外国語指導助手）マットさんが、日常生活で感じたことなどを伝えます。



▲モンタナ大学言語学部にあるマットさんお気に入りの油絵。赤ちゃんを中心にさまざまな国の人たちが描かれている。

安心してもらえる看護を

林 ^{はやし} 桜子 ^{さくらこ} さん
 (23歳・7区)

「一つ一つの動作をしっかりおこない、患者さんに安心してもらえる看護を心がけています」と話してくれた林さん、現在は山形済生病院に勤めています。

呼吸器内科病棟で看護師をしており、患者の多くが退院して家に帰ってからもケアが必要なため、それを見越した幅広い対応が求められるそうです。

「先輩を見ていると、一般的な対応のほかに患者さんとのちょっとした会話の中から、体調や人柄、家庭背景などの情報を集めて患者さんにあわせた対応をしています。プロとはこういうものかと感じながら仕事をしています」と林さん。

忙しい毎日をおくる林さん、今やってみたいことを尋ねたところ「最近車を購入したので、時間があればどこかにドライブしたいと思っています。道を覚えるのが苦手なのでナビも付けてます」と笑顔で答えてくれました。



Youthful トーク

● 短歌 ●

村人の絆実りて櫻咲く花の山と名づけてもよし
 桃の花緑の枝はぬれいたり山間地にてひとり見しとき
 三回忌仏前華やぐ八重桜遺影の夫の笑み見る如し
 風薫る季節を迎えて鋏を取る自給野菜の苗植えにけり
 平凡な家族と暮す幸せをしみじみ思ふ八十路となりぬ
 山萌えて山毛櫨の緑の清しさに心洗われ車走らす
 山の幸山の掟か親子さえ教えずにして逝きし母なり
 次々と役所より来る通達は理解しがたき齢となりぬ
 最上川岸辺の若葉きらめきて水面にゆらぐ景もまた華
 櫻散り伸びる新葉の輝きを抱きし夢に活きる力を

● 俳句 ●

菜の花や今年も飛来あげは蝶
 母の日や亡き母の味なつかしむ
 五月雨や最上の流れに浮かぶ筈
 甘い風つつまれ歩く若葉かな
 幟旗地域の絆生き返る
 更衣風爽やかに頬撫でる
 ことごとく野草の庭の草を引く
 新茶酌む妻も笑顔の朝餉かな
 月山に雲のしかかる薄暑かな

林 忠逸
 菅井 妙子
 今井 茂樹
 松田 馥
 鴨田富士夫
 秋元喜一郎
 熊谷 勉
 舟山 三男
 伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

清野 伝蔵
 斎藤 徳治
 伊藤 和子
 佐竹 與鼓
 長岡かづ子
 佐竹 麗子
 堀 トヨエ
 菅井 妙子
 松田 馥
 菊地つねよ

このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日（必着）まで役場総務課に作品をお寄せください。

お知らせ

Information

山形ステイネーションキャン ペーン

平成26年6月から9月まで、「山形ステイネーションキャンペーン（以下DC）」が開催されます。開催1年前にあたる今年には、プレキャンペーンが県内各地でおこなわれ、全国から多くの観光客をお迎えします。町民の皆さん全員で「笑顔であいさつ」「丁寧な言葉遣い」「観光バスや列車に手を振る」など『おもてなし』に取組んでいただき、大江町ファンをたくさんつくりましょう。

◆山形DC／平成26年6月14日（土）～9月13日（土）

◆プレキャンペーン／平成25年6月15日（土）～9月14日（土）

※お問い合わせは、政策推進課観光振興係 ☎(62) 2139まで

6月23日から29日は「男女共同参画週間」です

本年度は、「紅一点じゃ、足りない」をキャッチフレーズに女性の活躍を推進します。男女が互いに人権を尊

重し、一人一人が個性と能力を十分に発揮することができるよう、この期間に男女共同参画について改めて考えてみましょう。

県内河川一斉清掃の実施について

7月は「河川愛護重点運動期間」です。「きれいな川で住みよいふるさと運動」として県内河川一斉清掃がおこなわれます。皆さんのご協力をお願いいたします。

◆日時／7月7日（日）6時～

◆場所／最上川、月布川、小清川、大瀬川河川敷

※お問い合わせは、建設水道課管理係 ☎(62) 2116まで

最上川フェスタ、13「第13回最上川ゴムボート川下り大会参加者募集」

◆期日／7月14日（日）※小雨決行

◆受付場所／中山町せせらぎ公園（長崎大橋下付近）7時20分～

◆開会式／町民ふれあい会館開会式 8時50分～スタート10時～

◆内容／タイムレースの部（全長11kmうちレース区間4.2km）、パフォーマンスの部（全長11km）※上位入賞者には表彰状と賞品、全員に参加証と参加賞あり。

重度心身障害（児）者医療制度・ひとり親家庭等医療制度をご存じですか

一定の障害をお持ちの方や母子家庭・父子家庭などのひとり親家庭の方を対象として、医療費の一部を助成しています。助成を受けるためには医療証の申請が必要です。現在医療証をお持ちでない方で下記要件に該当すると思われる方は、役場税務町民課までお問い合わせください。※現在医療証をお持ちの方には、更新のご案内を差し上げておりますので、詳しくは案内をご覧ください。※お問い合わせは、税務町民課国保医療係 ☎(62) 2291まで

| | 重度心身障害（児）者医療 | ひとり親家庭等医療 |
|---------|--|---|
| 制度の内容 | 医療費の自己負担が1割又は無料になります。（保険適用分のみ） | 医療費の自己負担が無料になります。（保険適用分のみ） |
| 対象者 | ①身体障害者手帳1・2級 ②精神障害保健福祉手帳1級 ③公的年金各法の障害等級1級相当 ④療育手帳A ⑤特別児童扶養手当1級 ①～⑤のいずれかに該当する方で、町民税所得割が235,000円未満の方 ※ただし、16歳未満の扶養者がいる場合1人につき33万円、16歳以上23歳未満の扶養者がいる場合1人につき45万円を控除した額で計算した町民税所得割が235,000円未満の場合は対象になります。 | 父母が就労などにより収入を得て、子どもを扶養している… ①母子家庭世帯の母と18歳以下の子ども ②父子家庭世帯の父と18歳以下の子ども ③両親のいない18歳以下の子ども ①～③のいずれかに該当する方で、所得税非課税の方 ※ただし、16歳未満の扶養者がいる場合1人につき38万円、16歳以上23歳未満の扶養者がいる場合1人につき63万円を控除した額で計算した所得税が非課税の方は対象になります。※求職活動中の方や傷病又は家族の介護のために就労が困難な方も対象になります。 |
| 申請時の持ち物 | ・印鑑 ・保険証 ・対象となることが確認できる書類（身障者手帳等） | ・印鑑 ・保険証 ・父母が就労していることが確認できるもの（保険証・就労証明書等） |

第30回記念正調最上川舟唄全国大会

第30回正調最上川舟唄全国大会が6月30日(日)町民ふれあい会館において開催されます。今回は北海道より江差追分全国大会の優勝者をゲストとして招待し、唄と踊りを披露します。そのほか、えんころ節大会、お立ち酒大会の優勝者などさまざまなアトラクションも披露しますのでぜひ会場にお越しください。



◆期日/6月30日(日)

◆場所/町民ふれあい会館

- ◆内容/ 8:50~ 開会、舟唄踊りの披露
- 9:10~ 一般の部
- 11:30~ 記念アトラクション江差追分
- 12:50~ シニアの部
- 13:40~ 混声合唱団舟唄コーラス
- 13:50~ 一般の部決勝
- 14:55~ 大江中学校混声3部合唱
- 15:00~ ゲストアトラクション
- 16:10 閉会

※お問い合わせは、第30回正調最上川舟唄全国大会事務局(政策推進課内) ☎(62) 2 1 3 9 まで

- ◆参加資格/
 - ① 2人1組で小学3年生以上の泳げる人 ※未成年者は保護者の同意。中学生以下は大人と一緒にでなければ出場できません。
 - ② ゴムボート、オール、救命胴衣持参(一式500円で若干数の貸出あり)
 - ③ 参加料1組2,000円(保険料含)
- ◆申し込み期限/6月21日(金)締切、申込書を郵送又はFAXで大会事務局へ(申込書は役場建設水道課に準備)、タイムレースの部200組(一般の部、女性の部、男女混合の部、親子の部)、パフォーマンズの部30組で先着順締切

平成25年度山形県労働学院の開催について

県では、労働問題に関する基礎知識の理解を深め、昨今の社会情勢や労働関係の法制度の改正などに対応していくことができるよう、企業の子の部)、パフォーマンズの部30組で先着順締切

◆その他/飲酒禁止・ゴムボートは十分に事前点検をお願いいたします。

※お問い合わせは、建設水道課管理係 ☎(62) 2 1 1 6 まで

県では、労働問題に関する基礎知識の理解を深め、昨今の社会情勢や労働関係の法制度の改正などに対応していくことができるよう、企業の

人事労務担当者、労働組合関係者、県民一般を対象として、標記研修会を開催します。

◆日時/7月10日(水)・11日(木)

◆場所/村山総合支庁2階講堂

◆参加料/無料

◆申込締切/7月1日(月)

※お問い合わせは、山形県商工労働観光部雇用対策課 ☎ 023-630-2378 まで

労働保険料の申告・納付についてのお知らせ

労働保険料の申告・納付期限は7月10日(水)です。まだ手続きが済んでいない事業主の方はお近くの金融機関(日本銀行歳入代理店)または労働基準監督署でお手続きください。

※お問い合わせは、コールセンター ☎ 0120-995-986 まで

村山総合支庁の福祉に関する相談・申請窓口変更について

4月から、村山総合支庁本庁舎の福祉部門が、村山保健所の庁舎に移転し、以下の福祉に関する相談、申請窓口は次のとおりとなりました。

◆地域保健福祉課/保健福祉センター1(村山保健所) 2階

①身体障がい者等駐車施設利用証の

申請: ☎ 023-627-1143

②介護保険サービスの事業所指定等に関する相談: ☎ 023-627-1146

③障がい福祉サービスの事業所指定等に関する相談: ☎ 023-627-1149

◆子ども家庭支援課/保健福祉センター(村山保健所) 2階

・母子寡婦福祉資金に関する相談: ☎ 023-621-8178

※お問い合わせは、村山総合支庁保健企画課総務調整担当 ☎ 023-627-1240 まで



の頃運動不足です。日々のメリハリのない体になっていく自分に歯がゆい思いをしています。前まで定期的に体を動かしていたのですが、この頃はこなせていない状況です。人間の細胞は全部で約60兆個といわれ、部位にもよりますが約200日で新しい細胞に入れ替わるらしいです。半年:想像以上に早い周期ですね。となると日々の生活態度がどれだけ体に現れるかが理解できそうです。生活環境が変わったからといって体はそれに合わせてくれません。(山家雄志)



「初夏のまきば」 諏訪原 渡辺朝雄

リレー随想／ 《第72回》

ふりかえつて四十四年

昭和四十四年五月一日、忘れもしない大江町の男性と結婚し、この町が第2の故郷となりました。

山形に来て聞いた事のない珍しい言葉、それは「出稼ぎ」でした。聞いてびっくり、ほやほやの人生、それが一瞬にして冷めてしまいました。

今では結婚して四十四年あつという間にすぎ、今日に至っており

ます。主人は六十九才で亡くなり八年目の年を迎えました。その間に2人の男児を生み育て今は長男夫婦と孫の4人暮らしです。主人を亡くしても、私は常に「今が一番幸せ」と考え人生を楽しんでいます。

でもこうして歩んできた半生期を振り返った時、左右前後どっちを向いても昔からの知り合いの方はいない。明治生まれの両親の元を離れ生活するという事は、時に寂しく辛くなることもありましたが、誰もが通る道なのでしょう。

嬉しい、悲しい、苦しい、そんな時は2人の子供の手を引いて川口橋の上で子守唄を歌うのが楽しみでした。月布川の川面には月が映り、空を見上げると幾千という星がきらめき、川の音は実母の声の様にやさしく「シカ子、子どものためにがんばれよ」と言っているようにも聞こえました。そんなことが何度もありましたが、それも今では人生の道しるべとなっています。

嫁に来てから寒河江のとある事務所に二十六年間お世話になりました。はじめ、この仕事は私にできるのか不安でしたが「やれば出

来る」と思い、毎日六法全書を抱えながら勉強しました。自分が担当する各会社の方々からの助言や励ましもあり、勤め上げることができました。

大江町は大変住み良い町で、この度「やる気元気」という町の支援事業を利用して、平成十四年から細く長く続けてきた「おおえ昔語りの会」による「第一回おおえ」とん昔のつどい」を今年の3月20日に中央公民館2階ホールで発表することができました。役場の方々をはじめ、町民皆様方の大きなご支援により盛会に終了することができました。これも私たちの力を支えてくださった、数十年間会を支えてくださった、山形県昔語りの顧問・池野信先生があつてこそものだと思っています。

会場には100名以上の方々が見えられました。ご協力くださった方々に、会員一同心より厚く御礼申し上げます。

(12区 渡辺 シカ子)

お誕生おめでとう

| 区名 | 氏名 | 性別 | 父母名 |
|-----|--------|----|--------|
| 貫見 | 渡邊 景太郎 | 男 | 隆之・悦子 |
| 蛭水 | 加藤 六花 | 女 | 勉・さなえ |
| 滝の沢 | 佐藤 歩夢 | 男 | 英樹・美起子 |

ご冥福を祈ります

| 区名 | 氏名 | 年齢 |
|-----|--------|------|
| 富沢 | 五十嵐 健夫 | (80) |
| 原 | 佐藤 忠次郎 | (87) |
| 市の沢 | 安食 まつ子 | (80) |
| 7区 | 柏倉 みつ子 | (83) |
| 9区 | 渋谷 キミノ | (90) |
| 9区 | 堀 きくの | (90) |

| | | |
|-----|---------|------|
| 萩野 | 鈴木 秀男 | (76) |
| 上北山 | 佐藤 トシ | (88) |
| 5区 | 荒木 せい | (96) |
| 藤田 | 五十嵐 つねよ | (93) |
| 13区 | 鈴木 傳助 | (89) |
| 3区 | 廣谷 榮正 | (85) |
| 5区 | 菊地 賢一 | (61) |
| 山崎 | 佐竹 しげよ | (95) |
| 9区 | 佐藤 春男 | (83) |

人口と世帯(前月比)

| | |
|------|------------|
| 町の人口 | 9,039人(-9) |
| 男 | 4,445人(-4) |
| 女 | 4,594人(-5) |
| 世帯数 | 2,913戸(-2) |

平成25年6月1日現在

戸籍の まど

4月21日～5月20日受付分

★お詫びと訂正…5月号戸籍のまどお誕生日おめでとうコーナーにおいて名前に誤りがありました。正しくは下記のとおりです。お詫びして訂正いたします。
(誤) 清野美桜(みお) → (正) 清野心桜(みお)